

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学のコースワーク (物質科学系研究分野)

人類は、生命普遍の生存欲求に加え、充足感を持って生きることをも希求する存在である。本薬学部は、人類を含む生命のこのような実態に相對して、物質の視点から解析し、相互作用する物質を創造し、その成果を正しく活用することについて教育し、それに基づいた新たな知を創生する人材を育成する。もって人類の構成する地球社会に貢献する。

○「概要」

薬学は、人類を含む生命の実態に基づき、

- 1) 解析：物質が及ぼす好悪両面の作用の基盤を解き明かす。
- 2) 創出：機能を制御できる物質を創出する。
- 3) 活用：開発・発見された物質を活用し、また新たな活用の方策を創案する。

これらの活動を担う人材を育成するために、関連する基礎及び応用の科学並びに技術を修得させ、また自ら新しい知を創生するための、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨する。さらに、社会的使命・倫理観を持ってその成果を正しく活用し、国際社会の発展に寄与する人材を育成する。

このため、大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学専攻では、所属大学院生に対し、特定領域の確固たる専門性を有しつつも、解析・創出・活用に共通の教育基盤を与え、解析・創出・活用に係わる研究開発を担う人材を育成する。

○「目的」

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学（物質科学系研究分野）では、機能を制御できる物質を理解し、創出する創薬領域に力点を置きつつも、解析・創出・活用の全てにわたり、ヒトを含む生命や、その変化（疾病・病態）との関連を視野に入れた研究開発を遂行するための専門的知識技能を教育する。さらに、これらを基にした新たな知の創生を行うために、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し、もって国際社会に貢献する人材を育成する。

○「履修方法」

指導教員の指導により、30単位以上を習得すること。また、別資料記載、「医歯科学専攻の相互履修科目」については、4単位以上を上限として、終了要件に含めることができる。

○「教育課程表」

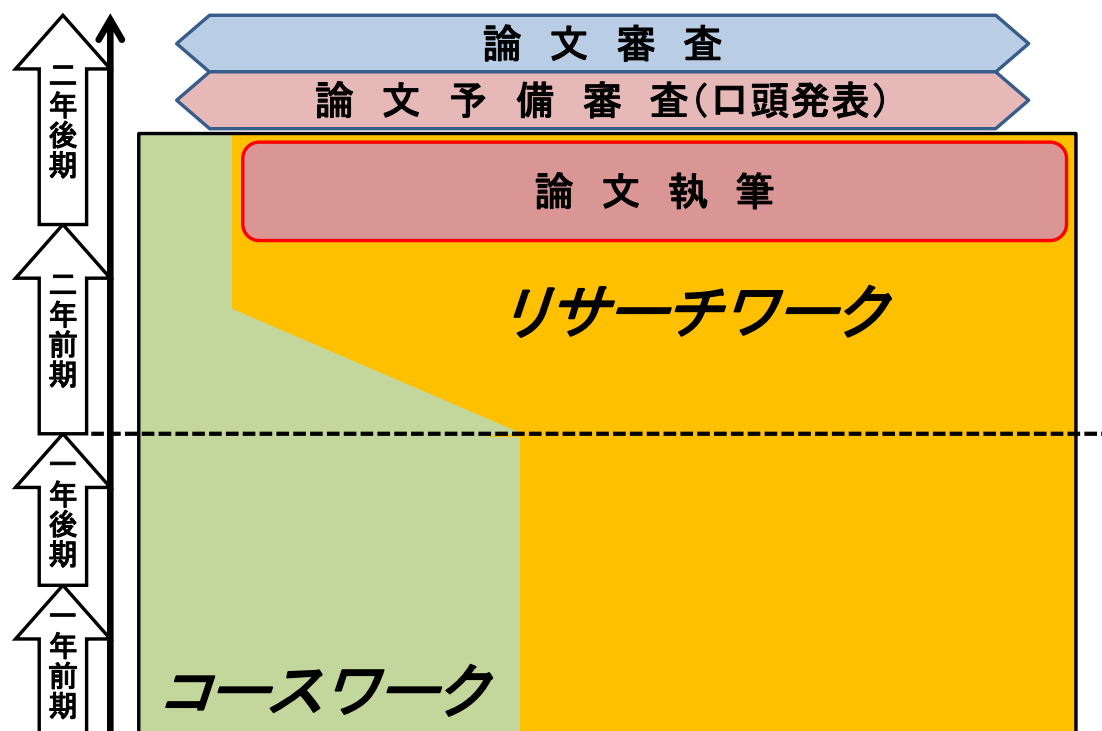
大学院医歯薬学総合研究科 博士前期課程 薬化学専攻 物質科学系

区分		授業科目	単位	備考
必修科目	研究指導科目	薬科学特別研究	12	通年
		薬科学セミナー	4	通年
選択科目	専門科目	先端薬学特論	2	通年
	研究指導科目	薬科学特別応用研究	6	通年
		薬科学応用セミナー	2	通年
	専門科目	有機化学・天然物化学	2	後期集中
		生命科学I	2	前期集中
計			30	

* 専門科目の授業科目は1例である。

○「カリキュラムマップ」

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学カリキュラムマップ概念図



大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学のコースワーク (分子イメージング教育コース)

人類は、生命普遍の生存欲求に加え、充足感を持って生きることをも希求する存在である。本薬学部は、人類を含む生命のこのような実態に相対して、物質の視点から解析し、相互作用する物質を創造し、その成果を正しく活用することについて教育し、それに基づいた新たな知を創生する人材を育成する。もって人類の構成する地球社会に貢献する。

○「概要」

薬学は、人類を含む生命の実態に基づき、

- 1) 解析：物質が及ぼす好悪両面の作用の基盤を解き明かす。
- 2) 創出：機能を制御できる物質を創出する。
- 3) 活用：開発・発見された物質を活用し、また新たな活用の方策を創案する。

これらの活動を担う人材を育成するために、関連する基礎及び応用の科学並びに技術を修得させ、また自ら新しい知を創生するための、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨する。さらに、社会的使命・倫理観を持ってその成果を正しく活用し、国際社会の発展に寄与する人材を育成する。

このため、大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学専攻では、所属大学院生に対し、特定領域の確固たる専門性を有しつつも、解析・創出・活用に共通の教育基盤を与え、解析・創出・活用に係わる研究開発を担う人材を育成する。

○「目的」

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学（分子イメージング教育コース）では、新規放射性医薬品創薬研究、代謝生理学的研究、マイクロドーズ臨床試験などのトランスレーショナル研究等の分子イメージング領域に力点を置きつつも、解析・創出・活用の全てにわたり、ヒトを含む生命や、その変化（疾病・病態）との関連を視野に入れた研究開発を遂行するための専門的知識技能を教育する。さらに、これらを基にした新たな知の創生を行うために、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し、もって国際社会に貢献する人材を育成する。

○「履修方法」

指導教員の指導により、30単位以上を習得すること。また、別資料記載、「医歯科学専攻の相互履修科目」については、4単位以上を上限として、終了要件に含めることができる。

○「教育課程表」

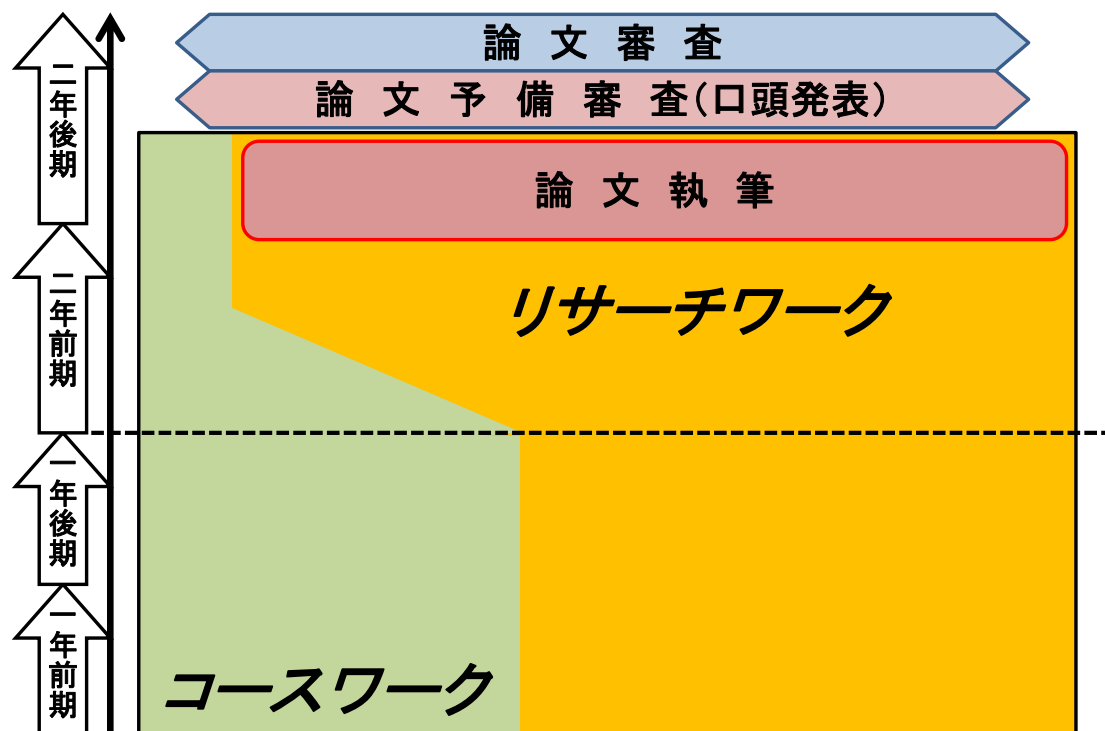
大学院医歯薬学総合研究科 博士前期課程 薬化学専攻（分子イメージング教育コース）

区分		授業科目	単位	備考
必修科目	研究指導科目	薬科学特別研究	12	通年
		薬科学セミナー	4	通年
	分子イメージング教育 コース科目	分子イメージング科学概論	2	後期集中
		分子イメージング科学実習	4	前期集中
	専門科目	先端薬学特論	2	通年
選択科目	研究指導科目	薬科学応用セミナー	2	通年
	専門科目	分析科学・物理化学	2	前期集中
		生命科学II	2	後期集中
計			30	

* 専門科目の授業科目は1例である。

○「カリキュラムマップ」

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学カリキュラムマップ概念図



大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学のコースワーク (生命科学系研究分野)

人類は、生命普遍の生存欲求に加え、充足感を持って生きることをも希求する存在である。本薬学部は、人類を含む生命のこのような実態に相對して、物質の視点から解析し、相互作用する物質を創造し、その成果を正しく活用することについて教育し、それに基づいた新たな知を創生する人材を育成する。もって人類の構成する地球社会に貢献する。

○「概要」

薬学は、人類を含む生命の実態に基づき、

- 1) 解析：物質が及ぼす好悪両面の作用の基盤を解き明かす。
- 2) 創出：機能を制御できる物質を創出する。
- 3) 活用：開発・発見された物質を活用し、また新たな活用の方策を創案する。

これらの活動を担う人材を育成するために、関連する基礎及び応用の科学並びに技術を修得させ、また自ら新しい知を創生するための、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨する。さらに、社会的使命・倫理観を持ってその成果を正しく活用し、国際社会の発展に寄与する人材を育成する。

このため、大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学専攻では、所属大学院生に対し、特定領域の確固たる専門性を有しつつも、解析・創出・活用に共通の教育基盤を与え、解析・創出・活用に係わる研究開発を担う人材を育成する。

○「目的」

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学（生命科学系研究分野）では、物質が及ぼす好悪両面の作用の基盤を解き明かす（薬理・毒性）解析領域に力点を置きつつも、解析・創出・活用の全てにわたり、ヒトを含む生命や、その変化（疾病・病態）との関連を視野に入れた研究開発を遂行するための専門的知識技能を教育する。さらに、これらを基にした新たな知の創生を行うために、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し、もって国際社会に貢献する人材を育成する。

○「履修方法」

指導教員の指導により、30単位以上を習得すること。また、別資料記載、「医歯科学専攻の相互履修科目」については、4単位以上を上限として、終了要件に含めることができる。

○「教育課程表」

大学院医歯薬学総合研究科 博士前期課程 薬化学専攻 生命科学系

区分		授業科目	単位	備考
必修科目	研究指導科目	薬科学特別研究	12	通年
		薬科学セミナー	4	通年
選択科目	専門科目	先端薬学特論	2	通年
	研究指導科目	薬科学特別応用研究	6	通年
		薬科学応用セミナー	2	通年
	専門科目	分析科学・物理化学	2	前期集中
		生命科学Ⅲ	2	前期集中
計			30	

* 専門科目の授業科目は1例である。

○「カリキュラムマップ」

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学カリキュラムマップ概念図

